

JENESYS2017 招へいプログラム SAARC 第2陣の記録

対象国：SAARC 8 か国

テーマ：連結性（運輸交通，インフラ・エネルギー）

プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」の一環として、SAARC8 か国より社会人127名が2018年1月22日～30日の日程で来日し、「連結性（運輸交通，インフラ・エネルギー）」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、来日2日目に今回のテーマに沿った日本理解講義を聴講し、滞在中のプログラム参加に向けた基礎知識を蓄えました。

その後、Aグループは長野県白馬村を訪問し、先進的な太陽光発電、水力発電施設を見学しました。また、多くの女性が地元の産業で活躍する様子を目の当たりにし訪日団は感銘を受けました。

Bグループは長野県飯山市を訪問し、雪深く冬季の生活が困難を極める地域でのインフラ整備とエネルギー活用の重要性を学びました。

C/Dグループは、愛知県と三重県を訪問し、名古屋市のまちづくりへの取組をはじめ鉄道、港湾、道路関係のインフラに関する知識を深めました。

また、日本人との交流を通して日本についての理解を深め、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

127名（アフガニスタン28名，インド13名，スリランカ14名，ネパール17名，バングラデシュ14名，パキスタン13名，ブータン14名，モルディブ14名 ※50音順）

【訪問地】

東京都（全員），長野県白馬村（35名），長野県飯山市（38名）愛知県（54名），三重県（54名）

2. 日程

1月21日（日）/1月22日（月）来日

1月22日（月） 【オリエンテーション】

1月23日（火） 【日本理解講義／基調講演】

アフガニスタン

【テーマ関連施設視察】一般財団法人日本国際協力センター

【表敬訪問】アフガニスタン大使館

パキスタン

【都内視察】東京都庁

【表敬訪問】パキスタン大使館

モルディブ・バングラデシュ・ネパール・スリランカ・インド・ブータン

【テーマ関連施設視察】羽田空港

1月24日(水)～1月28日(日)

4つのグループに分かれ、

Aグループ(アフガニスタン・モルディブ)は長野県白馬村、Bグループ(モルディブ・バングラデシュ・ネパール)は長野県飯山市を訪問

Cグループ(スリランカ・パキスタン)/Dグループ(インド・ブータン)は、愛知県・三重県を訪問

(1) Aグループ：長野県白馬村

1月24日(水) 【ホームステイ対面式】

1月25日(木) 【ホームステイ】

1月26日(金) 【地域産業・企業視察】株式会社小川の庄(おやき製造販売)、小谷村商工会議所、白馬村商工会議所、(アフガニスタン)
【地域産業・企業視察】大町市環境プラント金森発電、白馬村小水力発電所(モルディブ)

【地方自治体表敬訪問】白馬村役場

1月27日(土) 【地域産業・企業視察】大王わさび農場

【歴史的建造物等視察】松本城

1月28日(日) 【テーマ関連施設視察】白馬ジャンプ競技場

【文化体験】食旅長野

【ワークショップ】

【ホームステイ歓送会】

(2) Bグループ：長野県飯山市

1月24日(水) 【地方自治体表敬訪問】飯山市役所

【テーマ関連施設視察】飯山市ふるさと館

1月25日(木) 【テーマ関連施設視察】エコパーク寒川(ゴミ処理施設)、東京電力信濃川発電所(西大滝ダム)、飯山市内視察

【テーマ関連講義】飯山市役所建設水道部まちづくり課

【地域産業・企業視察】JR東日本飯山駅

1月26日(金) 【テーマ関連講義】飯山市役所スポーツ推進課

【テーマ関連機関視察】飯山市多目的運動広場

【ホームステイ対面式】長野県斑尾高原

1月27日(土) 【ホームステイ】

1月28日(日) 【ホームステイ歓送会】

【ワークショップ】

(3) C/Dグループ：愛知県、三重県

1月24日(水) 【地域概要講義】公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市

センター

- 1月25日(木) 【地域産業・企業視察】リニア・鉄道館
【文化体験】白鳥庭園, 茶の湯体験 (Cグループ)
【地域産業・企業視察】名古屋電機工業株式会社 (Dグループ)
- 1月26日(金) 【地域産業・企業視察】名古屋港・飛島コンテナ埠頭株式会社 (Cグループ)
【歴史的建造物等視察】伊勢神宮 (Dグループ)
【文化体験】おかげ横丁参観, 箸作り体験 (Dグループ)
【ホームステイ対面式】三重県大紀町
- 1月27日(土) 【ホームステイ】
- 1月28日(日) 【ホームステイ歓送会】
【ワークショップ】
- 全グループ: 地方プログラム終了後, 1月29日に都内へ移動
- 1月29日(月) 【報告会】
- 1月30日(火) / 1月31日(水) 離日

3. プログラム記録写真
(全グループ: 東京都訪問)



1/23 【日本理解講義／基調講演】



1/23 【表敬訪問】アフガニスタン大使館



1/23 【テーマ関連施設視察】羽田空港



1/29 【報告会】

(A グループ：長野県白馬村訪問)



1/26【地域産業・企業視察】大町市環境プラント金森発電



1/26【地方自治体表敬訪問】白馬村役場



1/28【テーマ関連施設視察】白馬ジャンプ競技場



1/28【ホームステイ歓送会】

(B グループ：長野県飯山市訪問)



1/24【地方自治体表敬訪問】飯山市役所



1/24【テーマ関連施設視察】飯山市ふるさと館



1/25【地域産業・企業視察】JR 東日本飯山



1/26【ホームステイ対面式】

(C/D グループ：愛知県・三重県訪問)



1/24 【地域概要講義】公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター



1/25 【地域産業・企業視察】リニア・鉄道館



1/25 【文化体験】白鳥庭園，茶の湯体験（Cグループ）



1/25 【地域産業・企業視察】名古屋電機工業株式会社（Dグループ）



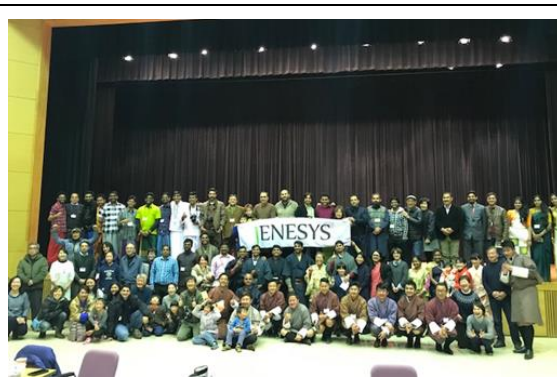
1/26 【地域産業・企業視察】名古屋港・飛島コンテナ埠頭株式会社（Cグループ）



1/26 【歴史的建造物等視察】伊勢神宮（Dグループ）



1/27 【ホームステイ】



1/28 【ホームステイ歓送会】

4. 参加者の感想（抜粋）

（A グループ：長野県白馬村訪問）

◆ アフガニスタン 社会人

日本についての講義は素晴らしかったです。小川の庄の方とお会いできたことも良かったです。そこでは、男女が一緒に働いていましたし、男女比は女性が60%でした。製品の通信販売もしていました。日本国際協力センターは素晴らしい所でした。職員は穏やかで親切、時間を励行し大変丁寧でした。ホームステイが一番良いプログラムでした。日本の両親と楽しく過ごしました。両親と一緒に料理をしていましたし、やりたいと思うことを一緒にしていました。二人に会えなくなるのはとても寂しいです。いつか二人をアフガニスタンでおもてなしできたら、と思いました。また、訪れた農場については、農場を監督している人について触れずにはいられません。農場は大王わさび園という名前です。そこでも多くの女性が働いていました。

◆ モルディブ 社会人

ホームステイプログラムは大変素晴らしい印象を与えてくれました。ホストファミリーは暖かく迎えてくれ、自分の家にいるかのように感じさせてくれました。食事は美味しかったですし、また、スキーにも連れて行ってくれました。スキーはとても面白かったです。ホームステイを通して本当の家族のようになりました。ホームステイは日本人の文化・伝統・考えを理解する一助になると思います。今後は期間を長くするように提案したいと思います。さらに、日本人は時間をしっかりと守ることに驚きましたし、また、それはとても良い習慣だと思います。また、私たち外国人はホストファミリーやその他の日本人から差別を受けませんでした。社会全体がプラスの感情・平和・調和を推進していると思いました。

（B グループ：長野県飯山市訪問）

◆ ネパール 社会人

私は日本人と日本の慣習に感銘を受けました。日本人は日本人同士で、あるいは外国人に対して多大な敬意を払う事が私には印象的でした。そしてそれ故に日本は世界の中で大国になったと思います。技術の進歩や細かなことまでを完璧にすることにも感心しました。すでに技術が発展していながら、さらなる研究活動を続けていることが興味深かったです。

◆ バングラデシュ 社会人

ホームステイは私にとって特別な思い出となりました。私の目の前で、知恵の扉が開かれた感じです。私にとって全く面識のない方から心温まる、友好的な歓迎を受けたことは驚きでした。私を家族のようにもてなしてくださり、私達が旧知の知り合いだったように接してくれました。家のオーナーであり、ホストである家族はおもてなしの心で、食事や車での送迎などしてくれたことに感動しました。今でも私の目の前で起きたことをひとつひとつ思い出すことができます。

私は、山登りを趣味としているので、バングラデシュの最高峰を始め様々な山に登りました。私は、雪山を歩きたいと思っていましたが、熱帯の国に住んでいるため、叶わぬ夢だと思って

いました。ところが、JENESYS プログラムでそれが実現し、3km も雪の中を歩いたのです。また、食事には感動しました。ホストファミリーは、毎日いろいろな料理を提供してくれ、味も盛りつけもすばしかったです。この経験を一生忘れることはないと思います。

(C グループ：愛知県・三重県訪問)

◆ スリランカ 社会人

名古屋都市センターでの講義は大変興味深いものでした。日本においてどのようにプランニングが実施され、必要な目標を達成するのかを知ることができて、私は幸運でした。都市居住地におけるインフラ整備は最高のレベルにあり、外国人として日本人から学ぶ考え方はたくさんありました。名古屋市における都市内連結性は、マルチモデルの交通手段の提供を増加させていて、これは多くの先進国が達成するのに苦心していることです。リニア・鉄道館では手本とすべきものを視察しました。先見の明のある計画と持続的な調査実施は驚くべきものです。官民のパートナーシップに関する会社の方針も大変興味深かったです。

◆ パキスタン 社会人

最も大切なプログラムはホームステイで、この日本訪問の中で、間違いなく最高の出来事でした。日本の家で日本人の家族と暮らしたことは、同じ食事をとったことを含めて素晴らしい経験で、これからもずっと私たちの記憶の中に長く生き続けることでしょう。この二日間で地域の家族と結んだ絆は忘れられないもので、いつまでも心に残ると思います。日本人の生活を実際に体験する機会を得ることができました。ホストファミリーの温かいもてなしは格別で、ほかに比べるものがありません。私たちは、自分の家にいるように感じました。また日本に戻ってきたいです。

(D グループ：愛知県・三重県訪問)

◆ インド 社会人

名古屋都市センターでの講義では、戦後の名古屋市の復興と都市開発について理解できました。歩道には盲人用の点字ブロックが敷設されている等、整備された交通/輸送システムが人々の生活に役立っていることを学びました。羽田空港視察では、ユニバーサルデザインについて学びました。日本ではあらゆる人々が快適に生活できていると思いました。ホームステイは日本人と一緒に生活する一生に一度の経験でした。ホストファミリーは今まで会った中で一番、お世話をしてくれる人たちで、ホームステイ中、会う人会う人、とても温かく迎えてくれました。また、家族と一緒に住むことの大切さを学びました。

◆ ブータン 社会人

日本理解についての基調講演はとても刺激的でした。歴史建造物保護のため人々がお金を出し合った話では政府に頼りきるのではなく相互扶助を学びました。箸づくり体験で訪問した会社では健康を守るためマスク、手袋、エプロンをしましたが、人体への悪影響は少ないと思われる作業でさえ、そのように従業員の安全を配慮している点に日本の企業のプロ意識の高さを感じました。ホームステイでは日本人の一番素晴らしい点を見たと思います。日本人がいかに生活し、食事をし、家族を養っているのかを知ることができとても良かったです。子供が

言うことをきかなくても日本の両親はぶったりしないですし、自分の準備は自分でさせていました。その他公共意識の高さ、清潔さ、労働者のプロ意識、時間に正確であること、テーブルマナー、ユーモアのセンスなど印象に残りました。

5. 受入れ側の感想

(A グループ)

◆ 受入れ団体担当者

訪日団の皆様が熱心に耳を傾けて下さる姿を体感することができました。普段受入れの少ない国々の方々にお越し頂き、空港のことを知って頂く良い時間でした。

(B グループ)

◆ 受入れ団体担当者

大変な雪と寒波の中、皆さんが「雪」や「かまくら」、「スキー」といった私たちの町の特徴、また雪国ならではの文化や風習、様々なインフラに対する取り組みを喜んで頂け嬉しく思います。現地のスタッフ、ホストファミリー、また施設で一緒させて頂きました各企業の方々より「こんなに雪がすごいときに、本当によく来てくれて、ありがとう」と言葉を頂き、本地域のインフラやエネルギー、運輸交通に関わる者達の、より一層の励みになったことと存じます。ありがとうございました。

◆ ホストファミリー

とてもフレンドリーで楽しい時間を過ごすことができました。食事に制限があり気を使いましたが、具合の悪くなる人もいなく安心しました。

(C/D グループ)

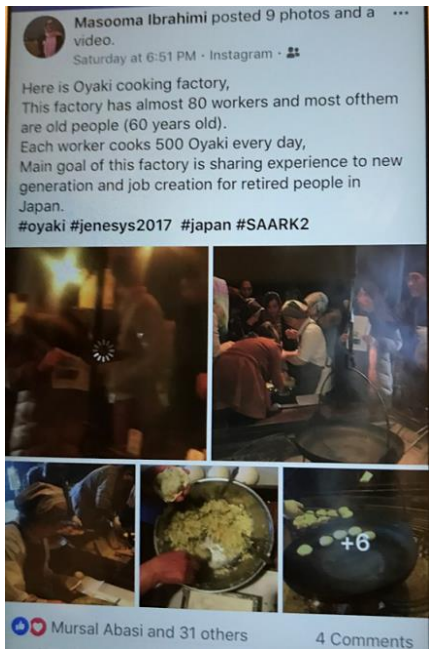



◆ ホストファミリー

子どもたちをととても可愛がってくれ、子どもたちは家族といるよりブータンの参加者と過ごす時間の方が長かったくらいでした。彼らの優しさは決して作られたものではなく、内面からにじみ出る本当の優しさで、ブータンという国の心の豊かさが表れていました。親の私たちはもちろん、子どもたちにも決して忘れることのない素晴らしい経験となりました。

◆ ホストファミリー

とても明るく礼儀正しい人たちでした。2日目には日インドのカレー対決をしましたが、やはり本場のカレーの勝利でした。

6. 参加者の対外発信

 <p>Masooma Ibrahim posted 9 photos and a video. Saturday at 6:51 PM · Instagram · 🌐</p> <p>Here is Oyaki cooking factory, This factory has almost 80 workers and most of them are old people (60 years old). Each worker cooks 500 Oyaki every day, Main goal of this factory is sharing experience to new generation and job creation for retired people in Japan. #oyaki #jenesys2017 #japan #SAARK2</p> <p>Mursal Abasi and 31 others 4 Comments</p>	 <p>No Service 5:53 PM 35%</p> <p>Photo</p> <p>samco17 Iiyama, Nagano</p> <p>Liked by tha_ath, zooxter and 54 others samco17 Got to experience the Nishi Otaki Dam. The dam reroutes river water to a power plant that can produce up to 177 thousand KW. It was interesting to know the considerations and measurements they have taken when building the dam for the fishes that reside in this Chikuma River. #JENESYS2017 #JICE #JAPAN #MALDIVES</p>
<p>おやき工場についての発信 (Facebook) 約 80 人の従業員のほとんどが 60 歳以上。毎日 1 人あたり 500 個のおやきを作っている。若い世代へのおやき作りの伝承と高齢者の雇用創出に役立っている。</p>	<p>西大滝ダムについての発信 (Instagram) 西大滝ダムの見学をしました。川の水をダムに流し込み、177000KW の電力発電をしています。ダム建設時に川に生息した魚への配慮や魚を守るための措置が取られたことを知るの、とても有意義でした。</p>
<p>#JENESYS2017 #Japan</p> <p>Tea ceremony..! Such a wonderful ritual..! Really lucky to have experienced it. Loving these special Japanese cultural things 😊</p>  <p>他5件</p> <p>いいね! シェアする</p>	<p>Jigme Thinley Yoezer Rinzinさん は Nagoya Urban Institute にいます。 1月24日 23:48 · 愛知県名古屋市</p> <p>Understanding why Japan has come a long way, learning Transport system from the best and how we can make it better for Bhutan #Thankyou #JENESYS2017 #Thankyou #japan #japanesepeople #japanesegovernment Ministry of Foreign Affairs (Bhutan) for enriching experience</p> 
<p>茶道体験についての発信 (Facebook) 茶道です！なんて素晴らしい儀式！こんな体験ができて本当にラッキーです。日本の特別な文化は大好きです。</p>	<p>名古屋都市センターについての発信 (Facebook) 日本がどのようにして長い道のりを乗り越えて来たか理解できた。最も優れた運輸交</p>

	通システムについて学び、どのようにブータンに役立てられるか考える。
--	-----------------------------------

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>Action Plan- Project Title: Waste Management and Recycling</p> <p>WHY: (Reasons to do it) 考えた理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦Environmentally Vulnerable, islands are isolated, Community is dispersed and lack of comprehensive and strategic waste management system is currently not practiced. ◦On a daily basis waste is collected from every household with in the country yet the waste is not segregated. ◦Recently, the government of Maldives has established a corporate limited company (WAMCO), to solve the issues regarding the waste collection services and it is in the infant stage. 	<p>OBJECTIVE OF JENESYS 2017</p> <p>01 CAPACITY BUILDING</p> <p>02 MUTUAL TRUST UNDERSTANDING FRIENDSHIP COOPERATION</p> <p>03 GLOBAL UNDERSTANDING OF JAPAN'S SOCIETY, HISTORY, CULTURE, POLITICS, HISTORY, DIPLOMATIC RELATIONS</p> <p>04 DISSEMINATING INFORMATION ON JAPAN</p> <p>ACTION PLAN_JENESYS 2017: BANGLADESH</p>				
<p>アクション・プランの発表 1 (A グループ/モルディブ)</p> <p>テーマ: ごみ処理とリサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さいことから始める-個人の責任で周りの人々に日々の家庭ごみを少なくするよう勧める。 ・地域の NGO に経験を共有し、地域でごみ分別をするよう働きかける。 ・地域の NGO と協同して SNS でキャンペーンを始める。 ・地域評議会や女性開発委員会に働きかける。 	<p>アクション・プランの発表 2 (B グループ/バングラデシュ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事, 雑誌, ブログを通して日本社会, 歴史, 文化, 政治, 国交について世界レベルで知識を高める。 ・講義やセミナーで技術面の情報を広める。 				
<p>Action Plan - Sri Lanka</p> <table border="1"> <tr> <td>WHAT</td> <td>Conduct a presentation on Japanese technologies localize to Sri Lankan cities would be conducted highlighting the advantages and benefits of localized systems than directly adopting.</td> </tr> <tr> <td>HOW</td> <td>Methodology: Conduct a group discussion on observed infrastructure Carry out an evolution on suitability of each system for Sri Lanka. Identify potential solutions Conduct a brief feasibility of each system including a cost benefit analysis Prepare the outcomes and request an expert opinion from Professor in transportation Present the findings of an open gathering</td> </tr> </table>	WHAT	Conduct a presentation on Japanese technologies localize to Sri Lankan cities would be conducted highlighting the advantages and benefits of localized systems than directly adopting.	HOW	Methodology: Conduct a group discussion on observed infrastructure Carry out an evolution on suitability of each system for Sri Lanka. Identify potential solutions Conduct a brief feasibility of each system including a cost benefit analysis Prepare the outcomes and request an expert opinion from Professor in transportation Present the findings of an open gathering	<p>People, Culture & Lifestyle</p> <p>ACTION PLAN</p> <p>Knowledge Dissemination</p> <ul style="list-style-type: none"> • Writing articles for the Organisation Magazines of the experience gained. • Sharing the experience through presentations to colleagues & Social Networking <p>Sharing Japanese Culture</p> <ul style="list-style-type: none"> • Organising events like Tea Ceremony with friends & families • E-tegami & Origami sessions with friends & families (especially Children)
WHAT	Conduct a presentation on Japanese technologies localize to Sri Lankan cities would be conducted highlighting the advantages and benefits of localized systems than directly adopting.				
HOW	Methodology: Conduct a group discussion on observed infrastructure Carry out an evolution on suitability of each system for Sri Lanka. Identify potential solutions Conduct a brief feasibility of each system including a cost benefit analysis Prepare the outcomes and request an expert opinion from Professor in transportation Present the findings of an open gathering				
<p>アクション・プランの発表 3 (C グループ/スリランカ)</p> <p>日本の技術をスリランカの都市に適合するように現地化し、直接適用する場合と比べて現地化の長所・恩恵に焦点をあてたプレゼンテーションを実施する。</p>	<p>アクション・プランの発表 4 (D グループ/インド)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを関連組織や雑誌に寄稿する。 ・発表や SNS を通じ経験を共有する。 ・友人・家族に対し茶道などのイベントを企画し文化を伝える。 ・絵手紙, 折り紙などを友達, 家族, 特に子どもに教えるイベントを開く。 				